

第 2 【事業の状況】

E02560)

(2) 経営者の視点による財政状態及び経営成績の状況に関する分析

経営者の視点による当社グループ（当社及び連結子会社）の財政状態及び経営成績に関する認識及び分析は次のとおりであります。

経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、消費財関連事業が健闘したものの、生産財関連事業の落ち込みを補うには至らず、売上高、各利益ともに前第3四半期連結累計期間を下回る結果となりました。

売上高は、中国における生産財関連事業の落ち込みが特に大きく、前第3四半期連結累計期間から37,796百万円減少し、363,751百万円（前年同期比9.4%減）となりました。なお、セグメント別の概況については、「(1) 経E02560)

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿等の記載内容が確認できない(E02560)

第4【経理の状況】

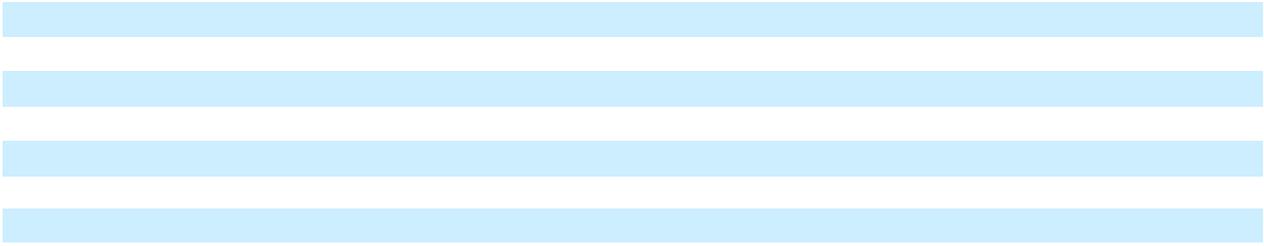
1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】



【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

【注記事項】

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間の期首より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を採用する北米子会社を除き、IFRS第16号(リース)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当該会計基準の適用に伴い、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「その他(純額)」が、3,304百万円、「沽」 0

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

	前連結会計年度 (2019年 3月31日)		当第 3 四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
金融機関等に対するもの		金融機関等に対するもの	
当社グループ社員	8百万円	当社グループ社員	13百万円
営業取引に関するもの			
当社取引先	285		
計	294	計	13

2 手形債権流動化

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間
(自 2018年4月1日

(セグメント情報等)
【セグメント情報】
E02560)

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

